

嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会
会長 伊藤幸雄 殿

嘉麻市教育委員会

嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備について（諮問）

昨今の社会経済情勢は、少子高齢化、情報化、家族のあり方などが大きく変化し、地方教育行政を取り巻く環境は、様々な課題が生じております。

本市の学校教育環境におきましても、特に少子化に伴う児童・生徒数の減少や国の地方税財政改革に伴う制度改革等により、財政環境が一段と厳しさを増す中、自ら学び、自ら考える個性重視の取り組みなどをはじめ新たな教育ニーズに応じた教育施策及び教育環境の改善・充実に早急な対応が求められている状況であります。

そのような状況の下、本市嘉穂地区の小学校につきましては、平成20年6月9日及び平成21年8月25日に貴審議会から答申いただいた内容を基に、統合対象校、統合小学校の位置、通学対策、施設整備の内容等について嘉麻市教育委員会として基本的な方向性を定めることができいております。

さて、今般、嘉穂地区小学校統合施設整備に関する次の段階として、下記の事項について個別具体的な検討が必要になっておりますが、嘉麻市教育委員会ではこの統合については、PTAや地域住民と協働する手法により、「統合してよかった」・「統合校に行きたい」といわれるような学校づくりを目指しておりますので、下記の事項について貴審議会のご意見を賜りたく諮問させていただきます。

貴審議会におかれましては、同地区の家庭・学校・地域における現状や課題をはじめ地域市民の意向に関しても十分調査・審議をいただき、中・長期的展望も踏まえ、最も適した小学校統合施設整備について答申いただきますようお願い申し上げます。

記

嘉麻市嘉穂地区統合小学校の施設整備の内容について

諮問内容	答申いただきたい時期	
	H22年10月	H23年3月
[諮問1] 小学校統合施設の基本設計の内容について	中間答申	答申
[諮問2] 小学校統合施設の学校名称の選定手法について	中間答申	答申
[諮問3] 統合後の通学対策の具体的な手法について	-	答申